

電気通信大学 平成17年度シラバス

| | | | |
|---------|--|----------|-------|
| 授業科目名 | 中国語第二 | | |
| 英文授業科目名 | Elementary Chinese II | | |
| 開講年度 | 2005年度 | 開講年次 | 1年次 |
| 開講学期 | 2学期 | 開講コース・課程 | 昼間コース |
| 授業の方法 | | 単位数 | 1 |
| 科目区分 | 総合文化科目-言語文化科目-言語文化基礎科目 I I | | |
| 開講学科・専攻 | 情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科 | | |
| 担当教官名 | 鷲巣 益美 | | |
| 居室 | 非常勤講師 | | |

| | |
|----------|------------|
| 公開E-Mail | 授業関連Webページ |
| | |

| |
|---|
| 【主題および達成目標】 |
| 正しい発音を身に付け、ピンインの読み書きが完全にできるようにする。基本単語と文法をしっかりと覚え、簡単な文章の読み書きと会話ができるようにする。教科書を1冊きちんと学べば、中国語検定4級程度の力はつくはず。 |

| |
|-------------------------|
| 【前もって履修しておくべき科目】 |
| 中国語第一 |

| |
|------------------------------|
| 【前もって履修しておくことが望ましい科目】 |
| なし。 |

| |
|---|
| 【教科書等】 |
| 前期と同じ。 C,F,T,Hクラスは『公式でわかる初級中国語』朝日出版社 J,E,Mクラスは『始めよう！中国語』白水社 |

電気通信大学 平成17年度シラバス

【授業内容とその進め方】

おおよその流れは前期と同じだが、文法事項にやや重点が置かれる。12月の最終授業時に中間テストを行う。受講者の習熟度に応じて課題を提出させることもあるが、期限内にしか受理しない。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

- (1) 全授業回数の三分の二以上出席していれば定期試験を受けることができる。
- (2) 遅刻を三回したら欠席一回に換算する。
- (3) 中間テストは定期試験と同格に扱う。
- (4) 授業中に指名されても答えられない場合、減点の対象となる。

【オフィスアワー：授業相談】

月曜の昼休みに非常勤講師控え室（本部棟一階）へ来てください。

【学生へのメッセージ】

前期よりも学ぶ内容が増え、進度も速くなります。予習・復習をきちんと行ってください。

【その他】